

令和4年度 江戸川区立平井東小学校 研究構想図

<研究主題>

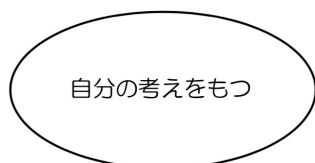
学びのアップデート

～「一人1台」の端末を活用した学び合い～

<目指す児童像>

自分の考えをもって学び合い、自らの考えを深めていける児童

タブレット端末を活用した
学び合いによって…



相手を意識した考えの共有
★共有→相違やよさに気付く
★共有→比較・分類して考える



- (低学年) 自分と相手の意見の相違やよさに気付くことができる児童。
(中学年) 自分と相手の意見を比較・分類して考えることができる児童。
(高学年) 自分と相手の意見を比較・分類して考え、自らの考えを深めていける児童。

<研究仮説>

学び合う場面におけるタブレット端末の効果的な活用方法を発達段階ごとに工夫し、授業改善を行うことで、自分の考えをもって学び合い、自らの考えを深めていける児童が育つだろう。

<研究内容>

①自分の考えがもてる
ようにする手だて

- 学びの必然性が生まれる課題や問いを設定する。
- 学習形態を段階的に設定する。
- 図やイラスト、思考ツールを活用して思考を促す。

②考えの共有や比較検討
を充実させる手だて

- 共有することで解決できるような新たな課題や問いを設定する。
- タブレット端末を活用して考えや根拠を可視化する。

③自分の考えを深められ
るようにする手だて

- 単元や授業の前後で考えを表現する場をつくる。
- デジタルポートフォリオを活用して学びの蓄積ができるようにする。